

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年台風第19号により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生し、現在、今年度中を一定の目途として、収蔵品レスキューを最優先に取組を進めております。

カビの発生や搬出経路の確保等から、収蔵庫1（民俗）及び収蔵庫2（考古）については、これまで搬出等を行っておりませんでした。両収蔵庫からの搬出等を開始いたしました。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過・対応内容

（1）主な経過

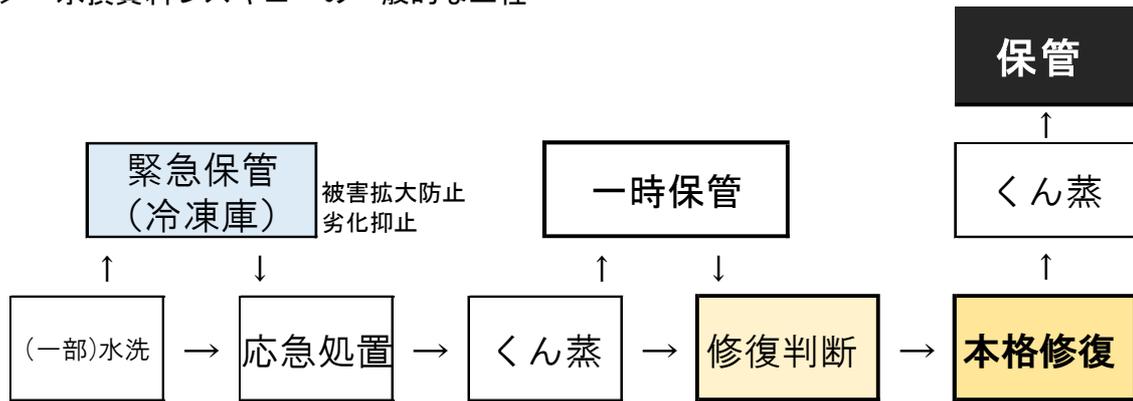
令和元年	10月22日	収蔵品レスキュー開始
	10月23日	文化庁へ救援等にかかる技術的支援の要請
	10月24日	文化庁文化財等災害対策委員会により技術的支援を実施決定
	11月15日	外部支援団体によるレスキュー開始
	11月30日	施設前広場に仮設ユニットハウスを設置（資料の応急処置や一時保管に活用）
	12月6日	施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナを2機設置（紙資料等の冷凍保存に活用）
	12月11日	常設展示室で展示していた収蔵品を館外へ搬出、保管
令和2年	1月14日	閉鎖していた収蔵庫1から民俗資料レスキュー開始
	1月22日	外部冷凍倉庫（川崎市内）への搬出
	1月23日	収蔵庫2から考古資料レスキュー開始

（2）レスキュー支援体制（令和2年1月25日現在）

これまでに支援に来ていただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（9団体）	その他支援・協力団体（5団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	一般社団法人国宝修理装演師連盟
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	日本大学芸術学部写真学科
国立国会図書館	東京大学史料編纂所
公益財団法人日本博物館協会	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益社団法人日本図書館協会	
全国美術館会議	
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	

<参考> 水損資料レスキューの一般的な工程



水 洗：汚れ等の洗浄（一部の収蔵品に対して実施）

緊急保管：紙作品のカビの増殖等を防止するため、冷凍倉庫等で冷凍

応急処置：作品の劣化、例えば紙作品同士の付着を防ぐため乾燥等の処置を行う

くん蒸：密閉した部屋、建物の中において、無人状態で害虫の駆除、防カビや殺菌するため、気体の薬剤を美術品等の作品、資料に浸透させる

一時保管：本格修復を行うまでに、温湿度管理ができる倉庫等で一時的に保管する

修復判断：修復方法、期間、費用等を確認し、本格修復実施の判断を行う

本格修復：作品の状態に合わせた専門家による修復

保管：修復が完了した作品等を適切な温湿度管理の元で保管する

2 収蔵品レスキューの状況（令和2年1月25日現在）

（1）収蔵庫の状況

第1収蔵庫 民俗関係（農具や生活用具等）を収蔵。



搬出のための経路を確保するため、通路部分にあった資料等を整理し、1月14日から搬出を開始。

第2収蔵庫 土器等の出土品を収蔵。



搬出のための経路を確保するため、通路部分にあった資料等の整理やコンテナ内に溜まった水を抜く作業を実施。1月23日から搬出を開始。

※一部の画像については、作品が特定できる部分に加工処理を施しています。

第3 収蔵庫 県及び市の指定文化財や古文書等を収蔵。



指定文化財や古文書の搬出を実施中。床に一部紙類が溶け流れたものがある。搬出した古文書は冷凍コンテナにおいて保管。11月上旬から搬出を開始。

第4 収蔵庫 著名な作家や市ゆかりの作家の絵画作品等を収蔵。



著名な作家や市ゆかりの作者の作品など、11月中旬から搬出を開始。

第5 収蔵庫 絵画や借用作品等を収蔵。



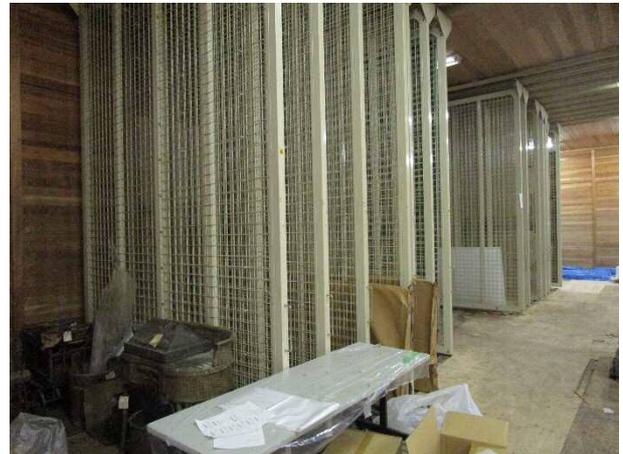
全ての収蔵品の搬出が完了。

第6 収蔵庫 マンガ（雑誌）等を収蔵。



棚の破損による危険性を考慮し未着手であったが、1月中旬から搬出を開始。

第7 収蔵庫 グラフィック作品等を収蔵。



著名作家の作品（トゥールーズ・ロートレック）など、11月中旬から搬出を開始。

第8 収蔵庫 写真の作品やネガ、漫画の原画、映画の紙資料等を収蔵。



可動棚が破損していたため、順次棚を解体しながら、漫画原画や貴重な写真など、10月下旬から搬出を開始。

第9 収蔵庫

映画フィルム、戦前・戦後の日本のニュースや川崎のニュース映像作品等を収蔵。



原版フィルムや棚上部の水濡れしなかった作品を搬出中。10月下旬から搬出を開始。

(2) レスキュー作業の状況

収蔵庫からの搬出の様子



水での洗浄の様子



※作業者の安全管理のため、防護服等を着用している。

エタノールによる洗浄の様子



支援団体による応急処置の様子



乾燥の状況（企画展示室2）



燻蒸後一時保管の状況 ユニットハウス



一時保管の状況 冷凍コンテナ



3 収蔵品のレスキュー状況 (令和2年1月25日現在)

(1) 収蔵庫別

収蔵庫	収蔵数(約)	出庫数(約)	出庫率(約)
〔第1収蔵庫〕 主に 民俗	18,200	300	2%
〔第2収蔵庫〕 主に 考古	71,600	200	0%
〔第3収蔵庫〕 主に 歴史	41,000	33,000	80%
〔第4収蔵庫〕 主に 美術文芸	11,100	7,800	70%
〔第5収蔵庫〕 主に借用作品、美術文芸、ビデオ	500	500	100%
〔第6収蔵庫〕 主に漫画(雑誌)	41,300	300	1%
〔第7収蔵庫〕 主にグラフィック	10,000	1,700	17%
〔第8収蔵庫〕 主に写真・漫画原 画・映画	32,000	29,900	93%
〔第9収蔵庫〕 主に映画	1,900	1,100	58%
〔その他〕 主に映画・ビデオ	1,400	400	29%
合計	229,000	75,200	33%

(2) 修復が困難なもの

収蔵庫から搬出する段階で、修復が困難なものが確認されています。

ア 作品等意味づける主要な部分が失われたと見られるもの

(例：写真：写真作品、美術文芸：油彩画、映画：フィルム)

イ 作品、資料で、素材が変質して崩壊し、原形に戻すことが困難なもの

(例：考古：埋蔵文化財関連資料)

4 今後の報道発表について

地階にある浸水した収蔵品については、今年度中を一定の目途として、地階から搬出すべく取組を進めてまいります。

レスキューの状況については、今後も定期的に発表する予定です。

川崎市市民文化局市民文化振興室

担当 永石

電話 044-200-2294 (直通)